

平成26年度
事業報告書

自 平成26年 4月 1日
至 平成27年 3月31日

一般財団法人 海技振興センター

目 次

| | 頁 |
|--|----|
| I. 概況 | |
| 1. 事業等 | 1 |
| 2. 役員 | 1 |
| 3. 評議員 | 2 |
| 4. 事務局 | 3 |
| 5. 事業資金 | 3 |
| II. 評議員会及び理事会の主たる議事 | 3 |
| III. 事業の概要 | |
| 1. 水先人の養成及び確保のための事業 | 4 |
| (1) 水先人の養成に関する総合事業検討委員会等の開催状況 | 5 |
| (2) 水先人養成支援対象者に対する支援 | 7 |
| (3) 登録水先人養成施設等に対する支援 | 8 |
| (4) 水先人養成支援対象者選考結果 | 8 |
| (5) 水先人養成制度等に関する周知活動 | 11 |
| (6) 水先修業生の水先人試験結果等 | 11 |
| 2. 海技の振興に関する事業 | 13 |
| (1) 船舶の運航及びきょう導に関する諸技術の改善・向上その他海技の振興に 関する事業 | 13 |
| (2) 船舶の運航及びきょう導に関する調査研究 | 15 |
| (3) 委員会一覧 | 17 |
| 3. 水先業務用施設の整備その他水先業務の改善に関する事業 | 19 |
| 4. その他事業 | 19 |
| IV. 許認可、登記、届出及び報告事項 | 20 |

平成26年4月1日に一般財団法人に移行したため、一般財団法人としての初年度の事業報告となる。

I. 一般財団法人海技振興センターの概況

1. 一般財団法人海技振興センターの事業等

(1) 事務所

東京都千代田区麴町四丁目5番地

(2) 目的

水先人の養成及び確保のための総合的な支援を行うとともに、船舶の運航及びきょう導に関する諸技術の改善進歩、これらに従事する者の資質の向上、その他海技の振興に関する事業を行い、もって船舶交通の安全確保、船舶の運航能率の増進及び海洋環境の保全に寄与することを目的とする。

(3) 事業

- ① 水先人の養成及び確保のための総合的な支援
- ② 水先人の養成の適確化及び円滑化に関する事業
- ③ 水先業務用施設の整備資金及び水先業務の開業資金の融資事業その他水先業務の改善に関する事業
- ④ 船舶の運航及びきょう導に関する諸技術の改善・向上その他海技の振興に関する事業
- ⑤ 船舶の運航及びきょう導に関する調査研究
- ⑥ 海上労働に関する労働科学的研究
- ⑦ 前2号の調査研究成果の公表、普及及び関係官庁、国際機関等に対する提言
- ⑧ 不動産の貸付に関する事業
- ⑨ その他本センターの目的を達成するために必要な事業

2. 平成27年3月31日現在の役員は次のとおりである。(敬称略)

(1) 理事

(代表理事)

会 長 芦 田 昭 充 理 事 長 伊 藤 鎮 樹

(業務執行理事)

常務理事 山 内 一 良 常務理事 古 田 幸 信

(理 事)

理 事 赤 峯 浩 一 理 事 栗 田 昌 宏

理 事 井 上 欣 三 理 事 鵜 殿 剛

理 事 小 野 芳 清 理 事 小 島 茂

理事 高橋 静夫 理事 春成 誠
理事 福永 昭一

以上13名

① 平成26年4月22日理事辞任（敬称略）

小幡 政人

② 平成26年4月22日理事就任（敬称略）

春成 誠

③ 平成26年6月25日理事辞任（敬称略）

宮原 耕治 磯田 壯一郎 井上 道彦 塚原 政和

④ 平成26年6月25日理事就任（敬称略）

芦田 昭充（平成26年6月26日代表理事就任）

伊藤 鎮樹（平成26年6月26日代表理事就任）

栗田 昌宏 鵜殿 剛

(2) 監事

監事 原 明正 監事 前原 輝幸

監事 藤井 照久

以上3名

① 平成26年6月25日監事辞任（敬称略）

佐々木 二郎 田根 一美

② 平成26年6月25日監事就任（敬称略）

原 明正 藤井 照久

3. 平成27年3月31日現在の評議員は次のとおりである。（敬称略）

評議員 井上 道彦 評議員 大鹿 仁史 評議員 門野 英二

評議員 久保山 金雄 評議員 佐々木 真己 評議員 鈴木 修

評議員 塚原 政和 評議員 中村 哲朗 評議員 野尻 豊

評議員 松村 泰材 評議員 宮崎 達彦 評議員 森谷 進伍

以上12名

(1) 一般財団法人移行後最初の評議員（平成26年4月1日就任）（敬称略）

評議員 五十嵐 誠 評議員 石橋 武 評議員 大鹿 仁史

評議員 久保山 金雄 評議員 佐々木 真己 評議員 下野 勝郎

評議員 中村 哲朗 評議員 柴田 耕介 評議員 野尻 豊

評議員 松村 泰材 評議員 森谷 進伍 評議員 ・ 澤 伸幸

- ① 平成26年4月22日評議員辞任（敬称略）
五十嵐 誠 佐々木 真己 柴田 耕介
- ② 平成26年4月22日評議員就任（敬称略）
鈴木 修 門野 英二 宮崎 達彦
- ③ 平成26年6月25日評議員辞任（敬称略）
石橋 武 下野 勝郎 ・ 澤 伸幸
- ④ 平成26年6月25日評議員就任（敬称略）
井上 道彦 佐々木 二郎 塚原 政和

4. 事務局

事務局職員 12名（年度末）

5. 事業資金

本センターの事業資金は、（公財）日本海事センターからの補助金及び基本財産の
果実等による。

II. 評議員会及理事会の主たる議事

① 評議員会

| 開催年月日 | 議事内容及び決議事項 |
|--------------------------|---|
| 平成26年度第1回 平成26年4月22日 | (1) 評議員の選任及び退任について (2) 理事の選任及び退任について |
| 平成26年度第2回 平成26年6月25日 | (1) 平成25年度事業報告及び平成25年度決算報告について (2) 評議員の選任及び退任について (3) 役員を選任及び退任について |
| 平成26年度第3回 平成26年11月17日 | 報告 (1) 公益財団法人日本海事センターに対する平成27年度補助金申請について (2) 平成26年度第3回、第4回及び第5回理事会の決議の内容について |
| 平成26年度第4回 平成27年3月25日 | 報告 (1) 平成27年度事業計画について (2) 平成27年度予算について (3) 会計処理規程の改正について (4) 会長、理事長及び常務理事の職務の執行状況報告について |

② 理事会

| 開催年月日 | 議事内容及び決議事項 |
|---|---|
| 平成26年度第1回 決議の省略の方法による理事会 (平成26年4月10日) | (1) 評議員会の招集について |
| 平成26年度第2回 平成26年6月4日 | (1) 平成25年度事業報告及び平成25年度決算報告について (2) 定時評議員会の招集及び議案について (3) 平成26年度事業計画(改定案)及び平成26年度収支予算(補正案)について |
| 平成26年度第3回 平成26年6月27日 | (1) 会長(代表理事)の選任について (2) 理事長(代表理事)の選任について |
| 平成26年度第4回 決議の省略の方法による理事会 (平成26年9月26日) | (1) 水先修業船員就業規則の制定について (2) 会計処理規程の改正の件 |
| 平成26年度第5回 平成26年10月30日 | (1) 公益財団法人日本海事センターに対する平成27年度補助金申請について (2) 水先業務施設整備等基金制度運用規則の改正について (3) 評議員会の招集について 報告 会長、理事長及び常務理事の職務の執行状況報告について |
| 平成26年度第6回 決議の省略の方法による理事会 (平成27年2月27日) | (1) 評議員会の招集について |
| 平成26年度第7回 平成27年3月25日 | (1) 平成27年度事業計画について (2) 平成27年度予算について (3) 会計処理規程の改正について 報告 会長、理事長及び常務理事の職務の執行状況報告について |

Ⅲ. 事業の概要

1. 水先人の養成及び確保のための事業

水先人の確保に資するため、水先人養成が適確かつ効率的に実施されるよう、「水先人養成に関する総合事業検討委員会」において、具体的な改善について関係者の意

見を聞き検討を行い、これまでの事業実績を踏まえながら支援業務を行った。

(1) 水先人養成に関する総合事業検討委員会等の開催状況

平成26年度の水先人養成に関する総合事業検討委員会等の開催状況は次のとおりである。

① 水先人養成に関する総合事業検討委員会

| 開催年月日 | 議事内容 |
|----------------------------|---|
| <p>第1回 平成26年5月28日</p> | <p>(1) 今後の水先人養成支援対象者の募集案内等について (2) 神戸大学へ設置の操船シミュレータの取扱いについて (3) 五大水先区への操船シミュレータ設置について (4) 新水先人養成課程の実施状況について (5) 選考に関する専門会議の検討状況について (6) その他</p> |
| <p>第2回 平成26年8月1日</p> | <p>(1) 五大水先区への操船シミュレータ設置について (2) 水先人養成課程の実施状況について (3) 神戸大学へ設置の操船シミュレータの取扱いについて (4) 水先人養成支援対象者の国家試験受験結果について (5) 第1回養成手当返還等審査会の検討結果について (6) その他</p> |
| <p>第3回 平成26年10月22日</p> | <p>(1) 水先人養成支援の費用について (2) 水先人養成制度の外部評価機能のあり方について (3) 水先人養成課程の実施状況について (4) 神戸大学へ設置の操船シミュレータの取扱いについて (5) その他</p> |
| <p>第4回 平成27年1月29日</p> | <p>(1) 水先人養成支援の費用について (2) 神戸大学のシミュレータの取扱いについて (3) 養成支援対象者の選考について (4) 水先人養成課程の実施状況について (5) その他</p> |
| <p>第5回 平成27年3月31日</p> | <p>(1) 神戸大学のシミュレータの取扱いについて (2) 水先人養成支援の費用について (3) 二級水先人養成支援対象者の募集要件等の変更について (4) 水先人養成課程の実施状況について (5) その他</p> |

平成27年3月31日現在の委員は次のとおりである。(敬称略)

委員長 羽原敬二
 委員 赤峯浩一 大西正幸 小野嘉久
 小見山純郎 金田章治 門野英二
 竹本孝弘 田中俊弘 辻村公寛
 中條幸基 村井康二 根本正昭
 堀晶彦 三好伸夫 山崎正敏
 以上16名

i 支援金に関する専門会議

平成26年度 開催実績なし

支援金に関する専門会議委員(敬称略)

座長 辻村公寛
 委員 金田章治 木田勤 門野英二
 田中俊弘
 以上5名

ii 養成手当返還等審査会

| 開催年月日 | 審議事項等 |
|-------------------|--------------------------|
| 第1回 平成26年6月16日 | 1. 養成手当返還に関する個別事情の審査について |

養成手当返還等審査会委員(敬称略)

座長 辻村公寛
 委員 金田章治 木田勤 門野英二
 田中俊弘 松原克美
 以上6名

iii 選考に関する専門会議

| 開催年月日 | 審議事項等 |
|-------------------|--|
| 第1回 平成26年4月1日 | 1. 三級水先人養成支援対象者(八期生・新規募集)の選考作業について 2. 次期の選考スケジュールについて |
| 第2回 平成26年4月23日 | 1. 三級水先人養成支援対象者(八期生・新規募集)の選考作業(最終合否判定)の実施について 2. 三級水先人養成支援対象者(七期生・追加募集)の選考スケジュールの最終確認について |

| | |
|-------------------|--|
| 第3回 平成26年6月11日 | 1. 三級水先人養成支援対象者（七期生・追加募集）の募集定員の一部変更について 2. 三級水先人養成支援対象者（七期生・追加募集）の選考作業（最終合否判定）の実施について 3. 次回の水先人養成支援対象者の選考スケジュールの変更について |
| 第4回 平成26年12月3日 | 1. 二級水先人養成支援対象者（二期生）の選考作業（最終合否）の実施について 2. 水先人養成支援対象者の選考スケジュールについて |
| 第5回 平成27年2月12日 | 1. 一級水先人養成支援対象者（九期生）の選考作業（最終選考判定）の実施について |
| 第6回 平成27年3月25日 | 1. 三級水先人養成支援対象者（八期生・追加募集）の選考作業（最終選考判定）の実施について |

選考に関する専門会議委員（敬称略）

座長 羽原敬二

委員 山崎正敏 三好伸夫 上原雅
 金田章治 小島茂 久古弘幸
 田中俊弘 堀晶彦 堀康雅
 古田幸信 日下部敏 以上12名

(2) 水先人養成支援対象者に対する支援

水先人養成支援対象者が登録水先人養成施設において適確に養成を受けることができるよう、次に掲げる支援対象者56名に対し養成手当を支給するとともに、必要な教材（海図、海事英語教材及びその他の書籍）及び被服（救命胴衣等）の無償貸与並びに水先区における現場訓練や商船等の乗船訓練の実施に伴い発生する旅費及び宿泊費等の実費を支援した。また、引き続き、修業期間中の傷害保険を付保するとともに、乗下船時の安全手引を配布した。

| | | |
|---------|-----|-----|
| 一級水先修業生 | 八期生 | 26名 |
| 二級水先修業生 | 一期生 | 3名 |
| | 二期生 | 2名 |
| | 合計 | 5名 |
| 三級水先修業生 | 五期生 | 9名 |

| | | |
|--|-------|-------|
| | 六 期 生 | 5 名 |
| | 七 期 生 | 1 1 名 |
| | 合 計 | 2 5 名 |

i 商船乗船実習を受ける水先修業生（水先修業船員）に対する支援

航海経験の少ない新卒者について、船社の協力を得て外航商船の航海士等として乗船実習させるため、平成26年10月1日に水先修業船員として4名を雇用し（雇用期間2年）、船社（日本郵船（株）：2名、（株）商船三井：1名、川崎汽船（株）：1名）に出向させた。

ii 三級水先修業生激励会の開催

平成26年10月1日に海技大学校において三級水先修業生激励会を開催した。

(3) 登録水先人養成施設等に対する支援

登録水先人養成施設3校（東京海洋大学、神戸大学及び海技大学校）及び五大水先区（東京湾水先区（平成26年10月16日設置）、伊勢三河湾水先区（平成26年9月17日設置）、大阪湾水先区（平成26年9月11日設置）、内海水先区（平成26年9月11日設置）及び関門水先区（平成26年10月10日設置））に対し、操船シミュレータ装置及び同装置用ソフトウェアを無償で貸与した。

また、同施設における水先人等の講師、操船シミュレータのインストラクター及びオペレーターの費用負担についても、引き続き支援を行った。

さらに、乗船訓練や水先区における現場訓練の円滑な実施への協力等必要な支援を行った。

(4) 水先人養成支援対象者選考結果（H26.4～H27.3実施分）

i 平成27年度一級水先人養成支援対象者（9期）

（平成27年1月25日総合適性試験、2月3日4日面接試験・16日発表）

| | 水先区 | 募集定員 | 応募者 | 合格者 |
|----------------|------|------|-----|-----|
| 一級水先人 18水先区 | 釧路 | 1名程度 | — | — |
| | 室蘭 | 1名程度 | 1名 | 1名 |
| | 釜石 | 1名程度 | — | — |
| | 秋田船川 | 2名程度 | — | — |

| | | | | |
|--|-------|-------|-----|-----|
| | 酒田 | 1名程度 | — | — |
| | 小名浜 | 1名程度 | 1名 | 1名 |
| | 東京湾 | 8名程度 | 10名 | 8名 |
| | 七尾 | 2名程度 | — | — |
| | 伊勢三河湾 | 6名程度 | 4名 | 6名 |
| | 尾鷲 | 1名程度 | — | — |
| | 大阪湾 | 4名程度 | 5名 | 4名 |
| | 内海 | 9名程度 | 3名 | 4名 |
| | 関門 | 5名程度 | 3名 | 3名 |
| | 博多 | 1名程度 | 1名 | 1名 |
| | 長崎 | 1名程度 | — | — |
| | 島原海湾 | 2名程度 | — | — |
| | 細島 | 1名程度 | — | — |
| | 那覇 | 1名程度 | — | — |
| | 合 計 | 48名程度 | 28名 | 28名 |

ii 平成26年度二級水先人養成支援対象者（1期）

（平成26年11月16日総合適性試験、11月26日面接試験・12月8日発表）

| | 水先区 | 募集定員 | 応募者 | 合格者 |
|---------------|-------|------|-----|-----|
| 二級水先人 5水先区 | 東京湾 | 1名 | 3名 | 1名 |
| | 伊勢三河湾 | 1名 | — | — |
| | 大阪湾 | 1名 | — | 1名 |
| | 内海 | 1名 | — | — |
| | 関門 | 1名 | — | — |
| | 合 計 | 5名 | 3名 | 2名 |

iii 平成26年度三級(新規)水先人養成支援対象者（7期）

（平成25年5月14日総合適性試験、5月17日面接試験・28日発表）

| | 水先区 | 募集定員 | 応募者 | 合格者 |
|-------|-----|------|-----|-----|
| 三級水先人 | 東京湾 | 1 | 3名 | 0名 |

| | | | | |
|-------|--------------------|--------|-----|-----|
| 4 水先区 | 伊勢三河湾 大阪湾 内海 | } 10 名 | 2 名 | 2 名 |
| | | | 2 名 | 2 名 |
| | | | 1 名 | 1 名 |
| 合 計 | | 10 名 | 8 名 | 5 名 |

iv 平成 26 年度三級（追加）水先人養成支援対象者（7 期）

（平成 26 年 5 月 25 日総合適性試験、6 月 4 日面接試験・13 日発表）

| | 水先区 | 募集定員 | 応募者 | 合格者 |
|----------------|-------|------|-----|-----|
| 三級水先人 3 水先区 | 東京湾 | 3 名 | 2 名 | 3 名 |
| | 伊勢三河湾 | 1 名 | 3 名 | 1 名 |
| | 内海 | 1 名 | 2 名 | 2 名 |
| 合 計 | | 5 名 | 7 名 | 6 名 |

v 平成 27 年度三級（新規）水先人養成支援対象者（8 期）

（平成 26 年 4 月 6 日総合適性試験、4 月 16 日面接試験・25 日発表）

| | 水先区 | 募集定員 | 応募者 | 合格者 |
|----------------|-------|------|------|-----|
| 三級水先人 4 水先区 | 東京湾 | 4 名 | 5 名 | 3 名 |
| | 伊勢三河湾 | 2 名 | 2 名 | 1 名 |
| | 大阪湾 | 2 名 | 3 名 | — |
| | 内海 | 2 名 | 3 名 | — |
| 合 計 | | 10 名 | 13 名 | 4 名 |

vi 平成 27 年度三級（追加）水先人養成支援対象者（8 期）

（平成 27 年 3 月 8 日総合適性試験、3 月 17 日面接試験・30 日発表）

| | 水先区 | 募集定員 | 応募者 | 合格者 |
|----------------|-----|------|-----|-------|
| 三級水先人 4 水先区 | 東京湾 | 1 名 | 1 名 | 1 名 ※ |

| | | | | |
|-----|-------|----|----|----|
| | 伊勢三河湾 | 1名 | 1名 | 1名 |
| | 大阪湾 | 2名 | 0 | — |
| | 内海 | 2名 | 2名 | 1名 |
| 合 計 | | 6 | 4名 | 3名 |

※ 東京湾水先区合格者については、合格発表後に辞退

(5) 水先人養成制度等に関する周知活動

新たな水先人養成制度により必要な水先人の確保が図られるよう、パンフレットの作成・配布、ホームページの充実等を通じ、引き続き、水先制度、水先人養成支援制度等の周知活動を実施した。

i 周知活動のため海の総合展への参加

平成26年7月19日～8月3日 海フェスタ京都（京都府舞鶴市）

ii 水先人業務・養成制度説明会

東京海洋大学（平成26年10月31日）、東海大学（平成26年11月4日）、水産大学校（平成26年10月17日）、神戸大学（平成26年10月20日）、鹿児島大学（平成26年11月14日）、富山高等専門学校（平成26年12月5日）、鳥羽商船高等専門学校（平成26年11月18日）、広島商船高等専門学校（平成26年12月11日）及び弓削商船高等専門学校（平成26年11月6日）

iii 水先現場見学会

東京湾（平成27年3月7日）：東京海洋大学・富山高等専門学校

伊勢三河湾（平成27年3月20日）：東海大学・鳥羽商船高等専門学校

内海・大阪湾（平成27年3月2日）：水産大学校・弓削商船高等専門学校

（平成27年3月23日）：神戸大学・鹿児島大学

関門（平成27年3月19日）：大島商船高等専門学校・広島商船高等専門学校

iv 三級水先人の現況報告会の開催

平成27年1月22日に海技大学校において三級水先人の現況報告会を実施した。

(6) 水先修業生の水先人試験結果等

① 一級水先修業生（7期）（平成25年4月入学～平成25年12月修了）

| 登録養成施設 | 水先区 | 修了者 | 合格者 | |
|--------|-------|-----|-----|-----|
| | | | 第1回 | 第2回 |
| 東京海洋大学 | 苫小牧 | 2名 | 2名 | |
| | 函館 | 1名 | 1名 | |
| | 仙台湾 | 1名 | 1名 | |
| | 東京湾 | 4名 | 3名 | 1名 |
| 神戸大学 | 伊勢三河湾 | 3名 | 2名 | 1名 |
| | 大阪湾 | 5名 | 5名 | |
| 海技大学校 | 内海 | 5名 | 3名 | 2名 |
| | 関門 | 3名 | 3名 | |
| | 鹿児島 | 1名 | 1名 | |
| 合計 | | 25名 | 21名 | 4名 |

※ 水先人免許（第1回：平成26年3月13日、第2回：平成26年8月22日）

② 一級水先修業生（8期）（平成26年4月入学～平成27年1月修了）

| 登録養成施設 | 水先区 | 修了者 | 合格者 | |
|--------|-------|-----|-----|-----|
| | | | 第1回 | 第2回 |
| 海技大学校 | 八戸 | 1名 | 1名 | — |
| | 仙台湾 | 1名 | 1名 | — |
| | 鹿島 | 1名 | 1名 | — |
| | 東京湾 | 7名 | 7名 | — |
| | 新潟 | 1名 | 1名 | — |
| | 伊勢三河湾 | 3名 | 3名 | — |
| | 和歌山下津 | 1名 | 1名 | — |
| | 大阪湾 | 5名 | 5名 | — |
| | 内海 | 4名 | 2名 | 0 |
| | 関門 | 1名 | 1名 | — |
| | 博多 | 1名 | 1名 | — |
| 合計 | | 26名 | 24名 | 0 |

※ 水先人免許（平成27年2月6日、和歌山下津水先区：27年2月27日）

③ 二級水先修業生（1期）（平成26年2月入学～平成27年4月修了）

| 登録養成施設 | 水先区 | 修了者 | 合格者 | |
|--------|-------|-----|-----|--|
| 海技大学校 | 東京湾 | 1名 | 1名 | |
| | 伊勢三河湾 | 1名 | 1名 | |
| | 大阪湾 | 1名 | 1名 | |
| 合計 | | 3名 | 3名 | |

④ 三級水先修業生（4期）（平成23年10月入学～平成26年3月修了）

| 登録養成施設 | 水先区 | 修了者 | 合格者 | |
|--------|-------|-----|-----|-----|
| | | | 第1回 | 第2回 |
| 東京海洋大学 | 東京湾 | 6名 | 6名 | |
| 神戸大学 | 伊勢三河湾 | 1名 | 1名 | |
| | 大阪湾 | 3名 | 2名 | 1名 |
| | 内海 | 1名 | 1名 | |
| 海技大学校 | 伊勢三河湾 | 2名 | 2名 | |
| | 大阪湾 | 2名 | 1名 | 1名 |
| | 内海 | 3名 | 3名 | |
| | 関門 | 1名 | 1名 | |
| 合計 | | 19名 | 17名 | 2名 |

⑤ 三級水先修業生（5期）（平成24年10月入学～平成27年3月修了）

| 登録養成施設 | 水先区 | 修了者 | 合格者 | |
|--------|-------|-----|-----|-----|
| | | | 第1回 | 第2回 |
| 東京海洋大学 | 東京湾 | 3名 | | |
| 神戸大学 | 伊勢三河湾 | 1名 | | |
| | 大阪湾 | 2名 | | |
| 海技大学校 | 大阪湾 | 1名 | | |
| | 内海 | 1名 | | |
| | 関門 | 1名 | | |
| 合計 | | 9名 | | |

※ 5期生は平成27年6月に受験予定

2. 海技の振興に関する事業

(1) 船舶の運航及びきょう導に関する諸技術の改善・向上その他海技の振興に関する事業

① HTW 調査検討に関する専門委員会の開催及びSTCW 条約改正に係るIMO 諸会議への出席等

IMO-STCW 条約に関する国際会議の対処方針についての意見交換や諸問題についての調査検討を行うため、下記のとおり「HTW 調査検討に関する専門委員会」を4回開催した。また、国の招聘事業と連携し、北極海航路の通航に関して海外の専門家（米国、ロシア及びカナダ）と国内海事関係者との意見交換会（海事局船員政策課との共同開催）及び海技教育機構海技大学の操船シミュレータの視察を実施した。

IMO の第 93 回及び第 94 回海上安全委員会並びに第 2 回 HTW 小委員会に技術・研究部長が出席した。

<専門委員会等>

- ・ 第 1 回 HTW 調査検討専門委員会（平成 26 年 4 月 16 日）
- ・ 第 2 回 HTW 調査検討専門委員会（平成 26 年 10 月 27 日）
- ・ 第 3 回 HTW 調査検討専門委員会（平成 26 年 12 月 25 日）
- ・ 第 4 回 HTW 調査検討専門委員会（平成 27 年 1 月 21 日）

平成 27 年 3 月 31 日現在の専門委員会委員は次のとおりである。（敬称略）

委員長 竹本孝弘

委員 御姓久夫、立川博行、北里英昭、高瀬敏一、及川武司、齊藤廣志、
藤岡宗一、遠藤雄三、湊 真輝、引間俊雄、松崎範行、中澤 武

- ・ 北極海航路の通航に関する意見交換会（平成 27 年 1 月 21 日）

国土交通省海事局船員政策課との共同開催

海外からの参加者

米国：アラスカ大学フェアバンクス校 ブリガム教授

ロシア：マカロフ提督記念海事大学 クズミン准教授

カナダ：運輸省 ナズハ航行安全・環境計画課部長

日本からの参加者

国土交通省海事局、海難審判所、航海訓練所、海洋政策研究財団

HTW調査検討専門委員会委員長及び委員、全日本船舶職員協会、

全日本海員組合、他

< IMO諸会議等 >

- ・第93回海上安全委員会（平成26年5月14日～5月23日 於ロンドン）
- ・第94回海上安全委員会（平成26年11月17日～11月21日 於ロンドン）
- ・第2回HTW小委員会（平成27年2月2日～2月6日 於ロンドン）

② IMO関係文書の仮訳及びその電子データ等のホームページへの掲示並びにIMOモデルコースで参考資料と指定された教材の提供

第1回HTW小委員会で審議され、第94回海上安全委員会で承認されたモデルコースを含む次のモデルコースを仮訳して、その電子データをホームページに掲示した。

- ・モデルコース 1.01 石油タンカー・ケミカルタンカー荷役作業の基本訓練
- ・モデルコース 1.02 石油タンカー荷役作業の上級訓練
- ・モデルコース 1.05 液化ガスタンカー荷役作業の上級訓練

また、IMO第1回及び第2回人的因子訓練当直小委員会報告書を仮訳して、ホームページに掲示した。

2017年1月1日に、STCW条約のマニラ改正が完全適用されるため、IMOのモデルコース「7.04 機関当直を担当する職員」に表示された当センター作成のERMのDVDに関する配布希望が多いので、外航及び内航船社に希望に応じて提供した。

(2) 船舶の運航及びきょう導に関する調査研究

① 危険物運搬船、低引火点燃料船及び液化水素運搬船における SOLAS 及び STCW 等の規制への対応並びに事故防止に資する安全対策に関する調査研究専門委員会

危険物運搬船の船倉作業等の際に重大な酸欠・中毒事故などが発生しており、その安全対策を早急に講じることが求められ、IMOでは、船員の操作要件等の議論が本格化することとなるため、国際的動向も踏まえつつ、危険物運搬船、低引火点燃料船及び液化水素運搬船における SOLAS 及び STCW 等の規制への対応並びに事故防止に資する安全対策について調査研究を実施し、作業安全のガイドブックを作成し、船社、船員教育部門及び関係機関に船員の安全教育に資するため提供した。

<専門委員会>

- ・第1回専門委員会（平成26年 7月23日）
- ・第2回専門委員会（平成26年10月 9日）
- ・第3回専門委員会（平成26年12月11日）
- ・第4回専門委員会（平成27年 2月16日）

平成27年3月31日現在の委員は次のとおりである。（敬称略）

委員長 羽原敬二

委員 神田一郎、齊藤廣志、庄田昌隆、寺西達弥、中嶋隆幸、永野真利、丸本秀一、久宗周二、山田憲一

② 水先問題調査研究委員会

安全及び円滑な運航を目的とする水先を的確に実施するために、船舶交通や港湾整備などの状況変化等を踏まえつつ、水先区(広域・小規模の水先区、水先区未設定港等を含む。)その他の船舶の交通安全及び運航能率の増進等に関わる事項について、平素から関係者の知見や技術的見地を活用した点検・対応等を図ることが必要である。

このため、水先に関する船舶交通の安全等関係の事項について、関係者による継続的な議論の場を設けるとともに、所要の調査研究を実施し、活動報告書を作成した。

また、国土交通省における横浜港の強制水先に関する検討を踏まえて、横浜港の操船シミュレータ実験調査を実施するとともに、(一社)日本船主協会及び日本水先人会連合会からの要請を受けて水先制度に係る海外調査(11港のアンケート調査及びシンガポールの訪問調査)を実施した。

<水先問題調査研究委員会>

- ・第1回調査研究委員会（平成26年 4月25日）
- ・第2回調査研究委員会（平成26年11月11日）
- ・第3回調査研究委員会（平成26年12月16日）
- ・第4回調査研究委員会（平成27年 3月30日）

平成27年3月31日現在の委員は次のとおりである。（敬称略）

委員長 羽原敬二

委員 辻村公寛、赤峯浩一、根本正昭、門野英二、竹口信和、佐々木功、山崎正敏、井上欣三（特別委員）、今津隼馬（特別委員）

③ 海技ネットワークの運営

船舶交通の安全確保及び船舶の運航能率の向上に資するために、これまでの調査研究事業の成果物を公に提供する海技のホームページを充実した。

(3) 委員会一覧

① HTW 調査検討専門委員会

| 開催年月日 | 議事内容 |
|---------------------------------------|--|
| 第 1 回 平成 26 年 4 月 16 日 | (1) 第 1 回人的因子訓練当直小委員会 (HTW1) の報告 (2) 氷海航海に関するプレゼンテーション (3) MSC93 への対応について (4) その他 |
| 第 2 回 平成 26 年 10 月 27 日 | (1) MSC93 の結果報告 (2) MSC94 への対応について (3) その他 |
| 第 3 回 平成 26 年 12 月 25 日 | (1) MSC94 の結果報告 (2) HTW 2 への対応について(第 1 回) (3) その他 |
| 第 4 回 平成 27 年 1 月 21 日 | (1) HTW 2 への対応について(第 2 回) (2) その他 |
| 北極海航路の通航に関する意見交換会 平成 27 年 1 月 21 日 | 北極海航路の通航に関する外国の専門家(米国、ロシア、カナダ)との意見交換 ・船員の極海航海に必要な訓練及び資格要件 ・極海の船舶の運航について *国の招聘事業と連携し、海事関係者等との意見交換会及び海技教育機構海技大学校の操船シミュレータの視察を実施 |

② 危険物運搬船、低引火点燃料船及び液化水素運搬船における SOLAS 及び STCW 等の規制への対応並びに事故防止に資する安全対策に関する調査研究専門委員会

| 開催年月日 | 議事内容 |
|---------------------------|---|
| 第 1 回 平成 26 年 7 月 23 日 | (1) 事業計画について (2) 酸欠・中毒事故の状況について (3) 作業安全標準について (4) 実態調査計画について (5) その他 |

| | |
|--------------------|---|
| 第2回 平成26年10月9日 | (1) 第1回委員会審議結果について (2) ヒアリング調査結果について (3) 安全機器の解説について (4) タンク内作業安全について (5) その他 |
| 第3回 平成26年12月11日 | (1) 第2回委員会審議結果について (2) 現場調査報告について (3) 安全機器の解説について (4) ガイドブック(案)について (5) その他 |
| 第4回 平成27年2月16日 | (1) 第3回委員会審議結果について (2) 現場調査報告について (3) ガイドブック(最終案)について (4) 活動報告書(案)について |

③ 水先問題調査研究委員会

| 開催年月日 | 議事内容 |
|--------------------|---|
| 第1回 平成26年4月25日 | (1) 水先問題調査研究委員会(設置等)について (2) 横浜川崎強制水先の問題について (3) 他の検討課題について (4) その他 |
| 第2回 平成26年11月11日 | (1) 水先問題調査研究委員会の委員の拡充について (2) 横浜港船舶航行環境調査(操船シミュレーション)報告書(案)について (3) 海外水先実態調査について (4) 小規模水先区の維持について (5) 水先区に関する調査・研究等事項について (6) 広域水先区における水先頻度の調査についての当面の検討課題について (7) その他 |
| 第3回 平成26年12月16日 | (1) 小規模水先区の維持について (2) その他 |
| 第4回 平成27年3月30日 | (1) 小規模水先区の維持について (2) 海外水先実態調査の実施状況について (3) その他 |

3. 水先業務用施設の整備その他水先業務の改善に関する事業

(1) 水先業務の開始に際して必要となる開業資金を用意することが困難な三級水先人に対する資金については、下記のとおり貸付を行った。

| | | |
|---------------|----|---------|
| ・東京湾水先区水先人会 | 2名 | 300万円 |
| ・伊勢三河湾水先区水先人会 | 1名 | 500万円 |
| ・大阪湾水先区水先人会 | 2名 | 250万円 |
| ・内海水先区水先人会 | 3名 | 850万円 |
| ・関門水先区水先人会 | 1名 | 500万円 |
| 合計 | 9名 | 2,400万円 |

なお、平成27年2月から、三級水先人に加え、新たに事業を開始する一級、二級水先人を貸付対象とする措置を講じた。

(2) 貸付金の償還及び利息の受領等の業務を行った。

(3) 水先業務用施設（事務所、水先艇、レーダー、通信設備、その他水先業務に必要な施設等）整備に係る資金については、該当貸付は無かった。

(4) 東京都貸金業立入検査 平成26年9月26日

① 指示事項：① 身分証明書の作成（平成26年10月1日 細則改正）

② 事前書面の改善（平成26年10月30日規則改正（平成26年度第5回理事会承認））

③ 契約書面の改善（ 〃 ）

② 東京都からの追加改善指示 平成27年1月14日

事前書面及び契約書面のさらなる改善（改善処置報告期限：平成27年6月末日）

③ 日本貸金業協会 貸金業に係る社内規則点検

指摘事項：反社会的勢力による被害の防止条項の修正（細則改正平成27年3月13日）

4. その他事業

当センターが区分所有する海事センタービルの6階の一部について、貸付その他適正な管理に努めた。

IV. 許認可、登記、届出及び報告事項

1. 登記事項

- (1) 一般財団法人への移行登記及び一般財団法人代表者印鑑登記
[平成26年4月1日申請]
- (2) 評議員及び変更登記
[平成26年5月1日申請]
- (3) 評議員、理事、代表理事及び監事の変更登記並びに新会長印鑑登記
[平成26年8月12日申請]

2. 内閣府に対する申請・報告事項

- (1) 移行登記完了届出
[平成26年4月23日電子報告]
- (2) 公益目的財産額確定申請
[平成26年6月25日電子申請]
(公益目的財産額確定通知：平成26年7月24日)
- (3) 公益目的支出計画等変更届出（会長変更）
[電子報告平成26年8月26日]

3. (公財) 日本海事センターに対する補助金申請・報告事項

- (1) 平成25年度補助事業完了報告
[平成26年5月30日]
- (2) 平成27年度補助金申請
[平成27年11月12日]
(海事公益事業補助審査委員会（補助金申請の説明）：平成27年 2月23日)
(交付決定：平成27年3月4日)